



## 読み解く力を育てます

7月になりました。フェアプレイ発表会も終わり、子どもたちは、1学期のまとめの時期を過ごしています。

5月に、学校から令和3年度の『学校教育計画』を配布しました。そこに、本年度、七重小学校で取り組む14の重点項目が書かれており、その1つに「**読解力の向上**」があります。読解力については、これからの時代を生きる子どもたちにとって、欠かすことのできない必要な力といわれています。5月27日に6年生を対象に行われた「全国学力学習状況調査」でも、読解力を求められる問題が多く出題されておりました。

その向上について、七重小学校では、重点の1つとして取り組んでいきます。

さて、七重小学校の目指す子どもの姿は

**「わかる」「できる」「つかえる」**子どもの育成 です

そこで、本校では、子どもたちに身につけさせたい読解力を目指す子どもの姿に合わせ

### 【読解力】

「**わかる**」：書かれている文章を丁寧に読もうとする。

「**できる**」：書かれている文章を正しく読むことができる。

「**つかえる**」：文章を読み、その意味を正しく理解し、

聞かれていることに対して、適切に答えることができる。

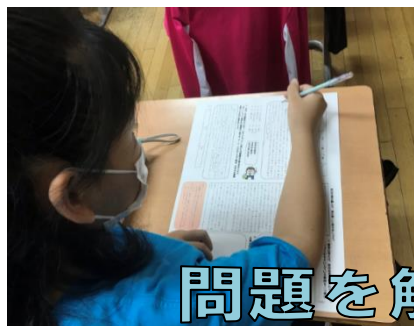
と設定しました。

読解力は国語の時間に限らず全教育活動の中で育てていくものです。従来の読解力は文章を読んで書かれた内容を理解するというようなことでしたが、新しい時代の読解力は文章だけでなく、図やグラフなどの資料の読み取りや活用なども含まれています。

七重小学校では子どもたちの「**読解力**」を高めるために、毎日の朝学習の中に、週1回の「**Dタイム**」を設けています。「**Dタイム**」は読解のDです。その他にも、子どもたちの読解力についてプリントを用いた定期的なチェックを行うとともに、国語の授業の中でも、読解力を確実に高めていきます。

子どもたちに求められる力は時代ごとによって変わっていきます。これからの時代に生きる子どもたちに必要な力を身につけさせることが学校に課せられた責務だと考えております。

保護者の皆様方のご理解のほどよろしくお願いいたします。



問題を解きます



解説をします